



DNW-18009 の概要

課題番号 : DNW-18009

課題名 : 子宮体がん治療を目的とする抗腫瘍低分子化合物の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

塩沢 丹里 (国立大学法人信州大学医学部)

課題番号 DNW-18009 では、細胞周期関連因子 X を制御することによって、新たな抗腫瘍剤の創製に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト :
細胞周期関連因子 X を制御することにより、治療抵抗性の子宮体がん治療に資する抗腫瘍剤を創製する。
- ターゲットプロダクトプロファイル :
治療抵抗性の子宮体がんに対する治療薬。形態としては経口剤及び注射剤
- 創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス :
以下のことが PI らにより報告されている。
1) 細胞周期関連因子 X は予後不良因子であり、更に既存抗がん剤に対する抵抗性獲得に関与していることを発見した。
- 最終目標 :
細胞周期関連因子 X が創薬標的のメカニズムとして妥当であることを示す。

本資料は、創薬総合支援事業 (創薬ブースター) による支援の終了時の情報をもとに作成しています。